【普通科】　２年次　【選択】科目　「政治・経済」授業のシラバス

１　概要

教科名	地歴・公民科	科目名	政治・経済	単位数	２（７８）
科目の目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力を育てる。				
教科書（出版社）	政治・経済　（東京書籍）	副教材（出版社）	ライブ！現代社会２０１９（帝国書院）、ニューコンパスノート政治・経済２０１９年（とうほう）		

２　学習の方法

⑴　予習について

・教科書を軽く読んで、内容、重要用語、問題点を把握しておくこと。

⑵　授業について

・板書及び、授業に関するプリント、ワークシートを配布する時もあります。

⑶　復習について

理想をいえば、その日学習したことはその日のうちに復習すると良いでしょう。しかし、国語、数学、英語など予習、復習をしなければならない科目がたくさんあります。地歴公民科では、一週間ごとにまとめて復習することを提案しています。政治・経済は２単位ですので、２時間分について、週末にノートを確認し、ニューコンパスノートの一問一答、実践問題を解いて理解を深めると良いでしょう。このようにして、できるだけ復習に時間をかけて欲しい理由は、復習しなければ、知識はもとより思考力、判断力が身につかないからです。特に大学や公務員試験を受験しようと考える人は、復習することの重要性を認識してください。

〈学習アドバイス〉

現在～未来を考えるとき、これまでに形成されてきた原理・原則と社会の変化を考察し、「現在～未来へ向けて幸福な社会を実現するために必要なことは何か」を考えていくことが必要となります。これこそが政治・経済を学ぶ意義です。この視点を忘れずに学習を進めることが大切です。また、新聞やニュースをみて実際の政治、経済、国際関係の日々の動きに注目していくと、さらに理解が深まります。

３　評価について

⑴　評価の観点

観　点	趣旨
①　関心・意欲・態度	社会的事象や課題などに対する関心と問題意識を高め、意欲的に追求する姿勢を評価します。
②　知識・理解	社会的事象や課題などに対しての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけているかを評価します。
③　思考・判断・表現	社会的事象や課題などについて、解決の在り方を広い視野に立って考察し判断できるか。また、文章や図によって表現しているかを評価します。
④　資料活用の技能	諸資料の収集・読み取りを分析し、整理・まとめをすることができるかを評価します。

⑵　評価の方法（以下観点①～④は「⑴　評価の観点」と対応する）

観点＼評価材料	割合	定期考査		小テスト	レポート	休業中の課題	ノート・ニューコンパスノート	提出期限	グループワーク
①　関心・意欲・態度	２５%	日常的な取り組みを見ます					○	○	○
②　知識・理解	２５%	○	教科書、ニューコンパスノート、ノート、資料集などから出題	○					
③　思考・判断・表現	２５%	○	教科書やセンター試験の過去問から出題	○	○	○			○
④　資料活用の技能	２５%	○	教科書やニューコンパスノート、授業中での諸資料、資料集、センター試験の過去問などから出題			○			

〈担当者からのメッセージ〉

提出課題を熱心に取り組み、定期考査の点数もしっかりとれるように努力することが大切です。そうすれば、いい評価につながるでしょう。

【普通科】　２年次　【選択】科目　「政治・経済」授業のシラバス

４　授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考査等
前期	１章　現代の政治			①		
4	第１節　民主政治の基本原理	6	・政治とは何か ・法の支配 ・近代民主政治の発展	②	・政治、法の支配などについて理解することができる。 ・近代民主政治に影響を与えた宣言等を読み取り、現在の政治と結び付けて考えることができる。	小テスト
5	第２節　日本国憲法の基本原理	8	・世界の主な政治制度 ・日本国憲法の基本原理 ・基本的人権の保障	③④ ②	・各国の政治制度について理解することができる。 ・日本国憲法の理念と性格、基本的人権の一般原則について理解することができる。	ノート、ニューコンパスノートの提出 前期中間考査
6		6	・法の下の平等 ・自由権的基本権 ・社会権的基本権 ・参政権と請求権 ・新しい人権	② ② ② ②	・基本的人権の保障について,判例を通じ理解することができる。 ・新しい人権について、自らの生活と関連させてそのあり方について考えることができる。	グループワーク 小テスト
7	第３節　日本の政治機構	8	・平和主義 ・国会と立法 ・内閣と行政機能の拡大 ・裁判所のはたらき ・地方自治	③④ ③④ ②③④	・自衛隊や米軍基地といった安全保障について考察することができる。 ・国会、内閣、裁判所、地方自治について理解し、課題について考察することができる。 ・裁判員制度の仕組みについて理解し、法的見方・考え方を高めることができる	休業中課題 グループワーク レポート
8	第４節　現代政治の特質と課題	4	・日本の政党政治 ・選挙制度 ・世論・マスコミ・政治参加	②③ ②③④	・政党政治、選挙制度、世論とマスコミの特質について理解し、課題について考えることができる。	小テスト グループワーク
9	第５節　現代の国際政治	6	・国際社会と国際法 ・国際連合と国際協力 ・国際政治の動向 ・世界平和を求めて	②③④ ②③④	・国際法、国際連合、国際政治の動向を理解し、課題について考えることができる。 ・核兵器の廃絶について考えることができる。	前期期末考査 ノート、ニューコンパスノートの提出
後期	第２章　現代の経済		・暮らしと経済	②③④	・私たちの暮らしと経済のかかわりについて理解することができる。	
10	第１節　現代の資本主義経済 第２節　現代経済のしくみ	10ｔ	・資本主義経済体制 ・経済主体と経済活動 ・市場機構とそのはたらき ・国民所得と経済成長 ・資金の循環と金融のはたらき	② ① ② ② ②③④	・資本主義体制の成立と発展について理解することができる。 ・経済主体の役割と相互関係について理解することができる。 ・完全競争市場や寡占市場の特徴について理解し、課題を考察することができる。 ・国民所得の概念、景気変動と経済成長の関連について考察することができる。 ・金融の働きと金融政策について理解し、国民生活との関連について考えることができる。	グループワーク 小テスト
11	第３節　日本経済の発展と産業構造の変化	10	・財政のしくみとはたらき ・経済再建から高度成長へ ・日本経済の現状 ・中小企業問題 ・公害と環境問題 ・消費者問題 ・農業と食料問題 ・労働基本権と労働 ・今日の雇用問題 ・社会保障の成立と発展	②③④ ②③④ ② ②③④ ②③④ ②③④	・財政の仕組みを理解し、課題について考察することができる。 ・戦後の日本経済のあゆみについて、理解することができる。 ・中小企業の抱える問題を理解し、課題について考えることができる。 ・公害と環境問題を理解し、課題について考えることができる。 ・消費者問題について、身の回りにどういう問題があるか考察することができる。 ・農業と食料に関わる問題から、日本と世界とのつながりについて考察することができる。	レポート グループワーク
12	第４節　労働と社会保障 第５節　国民経済と国際経済	6	・貿易と国際収支 ・国際経済体制 ・戦後の世界経済の発展	②③④ ②③④	・労働と社会保障についての制度を理解し、課題について考えることができる。 ・国際収支の動向を考察することができる。	後期中間考査 ノート、ニューコンパスノートの提出
1		4	・南北問題 ・人口・資源・エネルギー	②③④	・グローバル経済における相互依存関係の深まりについて考察することができる。	休業中課題
2		6	・現代社会の諸課題	②③④	・世界経済をとりまく諸課題について、その原因や将来展望についての考察することができる。	グループワーク 学年末考査 ノート、ニューコンパスノートの提出
3	第３章　現代社会の諸課題	4		②③④	・現代社会の諸課題について、現状を理解し、課題について考察することができる。	グループワーク
		計 78		②③④		

※　観点別評価①は関心・意欲・態度、②は知識・理解、③は思考・判断・表現、④は資料活用の技能を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。